

FOLFIRI＋Rmab

切除不能進行・再発大腸癌（2次治療）

対象患者:PS 0-1

RV 8mg/kg

5-FU 400mg/m²

ℓ-LV 200mg/m²

5-FU 2,400 mg/m² 46時間持続

CPT-11 150mg/m²

〔 day 1 〕

〔 day 2 〕

※UGT1A1遺伝子*6、*28
ダブルヘテロ複合体orいずれかのホモ接合体
の場合CPT-11 120mg/m²への減量を考慮

2W1クール

NO	薬品名・規格	投与量	投与速度
1	アロキシバグ 0.75mg 50ml ポララミン 5mg 2A デキサート 9.9mg		15分
2	生食 250ml サイラムザ	mg	初回 60分 2回目以降 30分
3	生食 50ml		15分
4	5% Tz 250ml レボホリナート	mg	120分
5	5% Tz 250ml イリノテカン	mg	120分
6	生食 50ml 5-FU	mg	全開で
7	生食 250ml 5-FU	ml mg	46時間

同時投与

シュアフューザーポンプ使用時
生食量は5-FU量による

☆投与後早期(投与中または投与後1-2日目)に発現する腹痛や下痢に対しては、アトロピン0.5-1Aもしくはブスコパンの混注を考慮して下さい。

☆本治療を行う前にUGT1A1遺伝子の検査を実施して下さい。1クール毎に尿蛋白を検査項目に追加することをご考慮下さい。

経口制吐剤:Day2-3

デカドロン錠(4mg) 1錠 分1(朝) Day2-3

注:本剤の投与にあたっては、インラインフィルター(0.2又は0.22μm)を使用する事。